

# 農業・食品産業分野の 研究成果発表会



**縞** 萎縮病に強く、  
麦芽の溶けが適正な  
ビール大麦の育成

(H23-25)



**遊** 休クルマエビ  
養殖池を活用した  
アサリ増養殖技術  
の開発

(H23-25)



**リンゴ、ナシ産地を蝕む  
「ヒメボクトウ」に対する  
複合的交信かく乱防除技術の開発**

(H23-25)

農林水産省では、提案公募型研究開発事業として、異分野のアイデア・技術等を農林水産分野に導入する研究開発を重点的に支援する「イノベーション創出強化研究推進事業」を実施しております。本事業によってこれまで得られた研究成果のうち、社会的な注目度が高く今後の社会実装が大いに期待される研究成果について、報道関係機関の皆様、研究内容をよく御理解いただけるよう、記者説明会を開催いたします。

**日時: 7月30日(火) 10:30~**  
**場所: 農林水産省 技術会議委員室**  
**(本館6階 No.676)**

**根** 部エンドファイト活用  
によるアスパラガス連作障害  
回避技術体系の開発

(H23-25)



## 縮 萎縮病に強く、麦芽の溶けが 適正なビール大麦の育成 (H23-25)

### 病気に強い国産ビール大麦新品種 アスカゴールデン育成

これまで日本で栽培されていたビール用大麦は、病にかかりやすく、ビール製造に必須である麦芽の品質にも課題がありました。

そこで、生産者とメーカーの希望を叶えるため、「病気に強く、ビール適正の高い麦芽品質を持つ」新品種「アスカゴールデン」を育成。現在では栃木県、群馬県、岡山県ではビール大麦契約の指定品種に格付けされており、栃木県及び群馬県で作付面積が 1,428ha (2018 年) となっています。さらに、事業終了後も研究を続け、ビール香味を向上させる特徴を持つ新品種「ニューサチホゴールデン」を育成。アスカゴールデンの後継となりうる、より高品質な国産ビール大麦を目指して、今も品種開発が続いています。



研究代表者/  
お問い合わせ先

栃木県農業試験場 研究開発部 麦類研究室長 加藤 常夫

nougyou-s@pref.tochigi.lg.jp

## 遊 休クルマエビ養殖池を活用した アサリ増養殖技術の開発 (H23-25)

### 遊休クルマエビ養殖地の再活用 手間をかけずにアサリ養殖

山口県のクルマエビ養殖業は低迷し、広大な養殖池が遊休化していました。そこで、激減するアサリ資源を回復するための養殖場として活用し、手間をかけずにアサリを増養殖するシステムを開発しました。

事業終了後には、肥料の見直しによる生産コスト削減検討や、アサリ回収機器の開発も行われ、激減するアサリ資源を回復させる画期的な取り組み（山口県の漁獲量は 2006 年の 4t から、2015 年の 52t まで回復）として注目されています。



研究代表者/  
お問い合わせ先

山口県水産研究センター 内海研究部 岸岡 正伸

kishioka.masanobu@pref.yamaguchi.lg.jp

## 根 部エンドファイト活用によるアスパラガス 連作障害回避技術体系の開発 (H23-25)

### 元気なアスパラガスを作る、土壌リセット技術

アスパラガスは多年生作物ですが、収量維持のためには一定期間毎に新たな株への更新が必要です。しかし、アスパラガスの畑にもう一度アスパラガスを定植すると、生育・収量が劣る（連作障害）ことが課題でした。

そこで、収穫後の湛水（畑に水を張ること）による土壌洗浄と太陽熱による消毒を組み合わせた、新たな連作障害回避技術を開発。九州を中心に5つの県（佐賀、長崎、福岡、熊本、栃木）で実用化が進み、国産アスパラガスの安定供給に貢献しています。



研究代表者/  
お問い合わせ先

農研機構 野菜花き研究部門 柳井 洋介

yosukey@affrc.go.jp

## リンゴ、ナシ産地を蝕む「ヒメボクトウ」に 対する複合的交信かく乱防除技術の開発 (H23-25)

### 合成性フェロモンを利用した新たな害虫防除

2005 年「ヒメボクトウ」によるナシ被害が徳島県で発見されました。ヒメボクトウ幼虫は樹の内部に入って長期間蝕むため、栽培農家はナシやリンゴの被害に悩まされていました。

そこで、合成性フェロモンの新たな利用技術を開発するとともに、新たな交信かく乱剤として農薬登録を行い技術を実用化しました。徳島県では、継続的な調査によって被害樹率の著減（ヒメボクトウの多発園では、被害樹率が 60% から 20% に激減）が確認されるなど、ヒメボクトウ被害に悩む多くの県で広く技術普及が進んでいます。



研究代表者/  
お問い合わせ先

国立大学法人千葉大学 グランドフェロー 中牟田 潔

nakamuta@faculty.chiba-u.jp